

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	奥飛騨温泉郷観光イベント開催事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者を はじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指し
	課			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	上宝支所 基盤産業課	内線 3931	項	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	12,100	千円				
				目	1	観光振興費	D				その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝支所地域の住民	どうしたい のか (意図)	・交流人口(観光客)の増加による地域活性化	概要	事業の実施 手法(手段)	・奥飛騨温泉郷の地域特性や自然環境を活かした集客イベントを、四季を通じて実施する
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	イベント開催回数	回	目標値	15	15			15	14
			実績値	15	15				
算出根拠等			達成率(%)	100	100				
成果 指標	イベント期間中の来客数	人	目標値	75,000	75,000	75,000	73,000		
			実績値	68,500	49,700				
算出根拠等			達成率(%)	91	66				
成果 指標	観光客の延入込客数	千人	目標値	1,500	1,300	1,500	1,500		
			実績値	1,262	1,220				
算出根拠等			達成率(%)	84	94				
算出根拠等			達成率(%)						
算出根拠等			達成率(%)						
算出根拠等			達成率(%)						
算出根拠等			達成率(%)						
算出根拠等			達成率(%)						
補足	平成23年度の「平湯大滝結氷まつり」は、事故の影響で前年の60%減の来客数となった								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・景気に左右されない魅力ある地域づくり
---------------------	---------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・イベント内容や実施時期等を精査し、少ない投資で最大の効果が得られるよう検討を行い実施する	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大	・奥飛騨温泉郷地域内や市全体への相乗効果が表れるよう、イベント内容や開催時期に創意工夫を行う
	○ 縮小 廃止検討	
二次評価	維持・改善 拡大	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。
○ 縮小 廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22	H23	H24	H25	
		決算額	決算額	予算額	予算要求額	
歳出(千円)	(A)	16,300	13,600	13,300	12,100	
受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,619	3,915	3,888	3,537	
受益者	上宝支所管内の市民(4月1日現在)	(B)	3,529	3,474	3,421	3,421

5 予算編成(Action2)

事業実施団体である「奥飛騨温泉郷観光イベント実行委員会」への誘客イベント実施負担金 ・北アルプス飛騨側開山祭、播磨祭 ・北アルプス自然感謝祭(年間数回開催) ・各温泉地での夏祭りイベント ・新穂高紅葉、平湯大滝等のライトアップ ・各温泉地での雪や氷を利用したイベント等14事業	要求の ポイント ・景気の後退、円高による海外旅行へのシフト等により減少傾向にある奥飛騨温泉郷への入込客を増加し、地域振興に繋げるための誘客イベントを実施	事業 実施 の 課題 ・観光客の増加による誘客イベントの開催時期や内容の検討が必要 ・目標を達成するためのイベント内容等を組織ぐるみで検証する体制づくりが必要である	観光 課 ・地域振興特別予算が平成26年度までの時限的的制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。 地域 政策 課 ・合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。
---	---	---	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	13,300	12,100	△ 1,200	12,100	12,100	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	13,300	12,100	△ 1,200	12,100	12,100		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	平湯大滝山スキー大会支援事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
種別				款	9	教育費		<input type="radio"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	上宝支所 地域振興課			項	5	保健体育費		<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
				内線	目	1		体育総務費	<input type="radio"/> D			
	3913						H25計画額		70 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	大会に参加する児童数	どうしたい のか (意図)	地元でのジュニア大会開催により、スキー人口減少の抑止、スキーレベルの向上と交流人口の増加に伴う地域の活性化に資する	概要	事業の実施 手法(手段)	平湯大滝山スキー大会 ・小学1年生～6年生へのスキー大会参加賞の授与 ・1位～6位までのトロフィまたは盾の授与
	対象者数	120 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	スキー大会参加者 N=115							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	スキー大会参加者	人	目標値	120	120	120	126
				実績値	126	115		
	算出根拠等	スキー大会出場者数		達成率(%)	105	96		
				目標値	105	105	105	105
	成果 指標	参加者増加率	%	実績値	105	91		
				達成率(%)	100	87		
	算出根拠等	前年比		目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
目標値								
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	参加者を増加させるためには、大会参加者である小学生にとって魅力ある賞品の授与が効果的である。限られた予算のなかで、小学生の意識高揚に繋がる賞品の選択が求められる。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	予算の範囲内で参加者増に繋がる賞品の選択を検討する必要がある。	
次 年度 の 実 施 方 針	<input type="radio"/> 維持・改善	参加者増加を促す魅力ある賞品提供のために内容の工夫検討が必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	<input type="radio"/> 維持・改善	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	<input type="radio"/> 縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	67	67	70	70
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	558	558	583	556
	受益者	大会参加者	(B)	120	120	120

5 予算編成(Action2)

事業 内容	地元スキー場におけるジュニアスキー大会の支援のために、上位入賞者の表彰	要 求 の ポ イ ン ト	大会の魅力PRすることで、当地域を訪れる交流人口の安定的確保を図るため、継続して実施される恒例の大会を支援	事業 実 施 の 課 題	参加者増に繋がる賞品の選択	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		70	70	0	70	70	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	70	70	0	70	70		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	巨樹巨木保護事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します ・飛騨高山の自然環境を生かしたグリーンツーリズムに加え温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム、自分だけの製品をつくるクラフトツーリズムなど、地元の産業と一体となった新たな旅行スタイルを生みだします。 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります
番付				款	2 総務費		○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所 基盤産業課	内線		項	1 総務管理費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	50 千円		
		3931		目	18 環境政策費		D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・林野庁の「森の巨人たち百選」に選定された「平湯の大ネズコ」の保全及び周辺環境の整備	概要	事業の実施手法(手段)	・保全団体へ補助金を交付することにより、保全管理・周辺環境整備・広報活動を支援する
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備 7回 ・学習会の開催 2回(7/14飛騨健康友の会、10/21栃尾小学校) 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	整備回数	回	目標値	5	4	4	4
成果指標	学習会の開催	回	実績値	8	7		
	算出根拠等		達成率(%)	160	175		
成果面	算出根拠等		目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績値	2	2		
補足	算出根拠等		達成率(%)	200	200		
	算出根拠等		目標値				
算出根拠等	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
算出根拠等	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
算出根拠等	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
算出根拠等	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・知名度向上のために、市役所内の関連部署や観光協会と連携してPRする必要がある
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育に対する地区内他施設・団体との連携 ・観光資源や健康増進施設としての利活用方法のPR
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育に対する地区内他施設・団体との連携 ・観光資源や健康増進施設としての利活用方法のPR ・自然環境の保護・保存に取り組む市民団体等に対する支援のあり方について整理する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 50	50	50	50
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1	1	1	1
	受益者 全市民(4月1日現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	「平湯の大ネズコ」の保護活動に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・知名度向上のために、市役所内の関連部署や観光協会と連携してPRする必要がある	環境政策推進課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針を策定する必要がある。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	50	50	0	50	50	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	50	50	0	50	50		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、 独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
	款			3	民生費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	項			1	社会福祉費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業					
	目			3	老人福祉費	D		その他事業					
担当課	上宝支所 地域振興課		内線	3921				H25計画額	420 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施 手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
				実績値	10,405	9,796		
				算出根拠等	達成率(%)	99	93	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
				実績値	150	143		
				算出根拠等	達成率(%)	100	95	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	42	43	40	40
				実績値	42	39		
				算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	99	91
	補足				目標値			
					実績値			
		算出根拠等			達成率(%)			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	501	501	515	505
	受益者	上宝区会員(4月1日現在)	(B)	839	839	816

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求の ポイント	・各区老人クラブ事務局人件費	事業 実施の 課題	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業 老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。	高 年 介 護 課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
						地 域 政 策 課	・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	53199	大規模林道環境保全事業	内線	3931	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。 ・産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策
	款					5	農林水産業費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所 基盤産業課			3931	予算	項	3	林業費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,000	千円	
	目	1	林業総務費			D	その他事業								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝支所地域の住民	どうしたい のか (意図)	・上宝支所地域、特に双六地区の活性化と観光客の誘致	概要	事業の実施 手法(手段)	・4月中旬に山吹集落～飛騨市境までの5kmを除雪 ・7月下旬に山吹集落～飛騨市境までの5kmの周景整備(草刈り)
	対象者数	3,474 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・除雪 L=5km、7時間 ・草刈 L=6.6km						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	除雪時間	時間	目標値		14	14	
			実績値	0	7		
算出根拠等			達成率(%)		50		
活動指標	草刈延長	km	目標値	5	5	5	
			実績値	4	7		
算出根拠等			達成率(%)	74	132		
成果指標	観光客の延入込客数	千人	目標値	1,500	1,300	1,500	
			実績値	1,262	1,220		
算出根拠等			達成率(%)	84	94		
算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)				
補足	・活動指標の除雪時間は達成率が低い方が良好 ・平成22年度は除雪なし						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市民ニーズに応えるため、今以上に除雪を早める場合には、除雪費用の負担について飛騨市と協議を進める必要がある
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・早期除雪の費用負担について、飛騨市と協議を行う	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・現状で事業を実施する
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了後の対応を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	325	743	835	6,856
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	92	214	244	2,004
	受益者	上宝支所管内の市民(4月1日現在)	(B)	3,529	3,474	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	・除雪 ・草刈 ・落石防止工 ・水路切替工	要求の ポイント	・地域振興を目的とした春期除雪、交通安全確保を目的とした沿道草刈 ・降雨による土砂の車道への流出を未然に防ぎ、通行車両の安全確保及び通行止めによる地域経済への影響が出ないようにするため、平成24年度に通行止めの原因となった土砂崩壊箇所の落石防止工事を実施	事業実施の 課題	・平成2年の全線開通以来23年が経過し、法面の崩壊が目立つようになり、通行者の安全確保のために落石防止工事を継続して実施する必要がある	林務課 地域政策課	・主要路線を実施しているが、今後の維持管理の方法を検討する必要がある。 除雪の必要性について、飛騨市側の負担による除雪も含めた調整が必要である。
------	--------------------------------	-------------	--	-------------	---	--------------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		800	6,856	6,056	5,800	5,800	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	800	6,856	6,056	5,800	5,800		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	新穂高登山者用駐車場管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。 ・飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズムに加え温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム、自分だけの製品をつく
	課			6	商工費		○	B				
担当課	上宝支所 基盤産業課	内線 3931	予算	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,300 千円		
				目	2		観光施設費	D				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝支所地域の住民	どうしたい のか (意図)	・観光客受入体制の整備	概要	事業の実施 手法(手段)	・登山シーズンにおける登山者用駐車場の交通整理及び警備、仮設トイレ設置、場内清掃業務を委託により実施
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・駐車場の交通整理及び警備 日(4~10月) ・仮設トイレの設置及び管理清掃 7~10月						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	交通整理及び警備日数	日	目標値 実績値	39 33	41 36	50 /	61 /	
成果 指標	登山者の対前年比割合	%	目標値 実績値	110 112	100 91	105 /	105 /	
	算出根拠等		達成率(%)	85	88	/	/	
成果 面	算出根拠等		達成率(%)	102	91	/	/	
	算出根拠等		達成率(%)	/	/	/	/	
補 足	算出根拠等		達成率(%)	/	/	/	/	
	算出根拠等		達成率(%)	/	/	/	/	
補足		・活動指標の交通整理日数は達成率が低い方が良好						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新穂高渓流工で減少した市営駐車場の収容台数を補てんするため、収容台数の増加が必要 ・収容台数の増加が必ずしも路上駐車に繋がらない恐れがある
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・今年度の入込動向を注視しながら、需要予測を行い実施する	
次年度 の実施 方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・北アルプス飛騨側山小屋友交会との連携を強化し、市有施設以外の駐車場確保を検討する
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了後の対応を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,972	2,003	2,900	3,453
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	559	577	848	1,009
	受益者	上宝支所管内の市民(4月1日現在)	(B)	3,529	3,474	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	・混雑期の場内整理、他駐車場の案内 ・仮設トイレの設置、清掃 ・場内の草刈り ・施設補修用原材料	要求の ポイント	限られた駐車スペースを有効に使用していただくための態勢を充実させる	事業 実施 の 課題	支所 ・駐車場の収容台数に限りがあるため、増え続ける登山者に対する根本的な対応策を検討する必要がある 観 ピーク時の駐車場収容可能台数が不足しているため、右俣、左俣林道への違法駐車が増えない。緊急車輛や作業車輛の通行確保のために道路管理者・警察との協議が必要である。 地 需要と供給量を調査・把握し、総合的な登山者用駐車場対策の方針を定めることが必要である。
------	---	-------------	-----------------------------------	---------------------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,900	3,453	553	3,000	3,000	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,900	3,453	553	3,000	3,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	北アルプス飛騨側登山道等維持管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します。 1 飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズムに加え温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム、自分だけの製品をつくるクラフトツーリズムなど、地元の産業と一体となった新たな旅行スタイルを生み出します。
	課			6	商工費		○	B				
担当課	上宝支所 基盤産業課	内線 3931	予算	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,000 千円		
				項	3		自然公園費	D				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝支所地域の住民	どうしたいのか (意図)	・登山道整備による北アルプス登山者の安心・安全確保及び周辺整備	概要	事業の実施 手法(手段)	・登山道整備の実施団体である「北アルプス飛騨側登山道等維持連絡協議会」に対し、事業運営費用の一部を負担金として支出する
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・打合せ 4回 ・登山道整備(6~10月) ・標柱の設置 1箇所(7月) ・危険箇所等現地踏査(7~10月)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	協議会との打合せ	回	目標値	2	3	3	3
	算出根拠等		実績値	2	4		
成果 指標	登山者の対前年比割合	%	目標値	110	100	105	105
	算出根拠等	登山者数は登山届提出数	達成率(%)	100	133		
成果 面			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補 足			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・3000m級の山岳地帯の歩道であり、構造物等の設置ができないため、危険度を限りなくゼロに近付けることは不可能である
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・協議会や個別の山小屋との連絡を密にし、早期の対応を行う	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・現状で事業を実施する
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	2,000	2,000	2,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	567	576	585
	受益者	上宝支所管内の市民(4月1日現在)	(B)	3,529	3,474

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	山岳関係団体との連携による登山道の維持管理	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所 ・危険箇所の回避ルートの新規開設等、法令により協議会で実施できない作業がある ・ハイシーズンの登山者用駐車場不足等、登山道の整備だけでなく登山客受入態勢の充実が必要である	環 境 政 策 推 進 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
					地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	2,000	0	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	課			7 土木費	○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	上宝支所 基盤産業課	内線	3942	項	2 道路橋梁費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	17,000 千円	
				目	1 道路橋梁総務費		D その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地元住民(道路敷地権者)	どうしたい のか (意図)	未登記路線の整備(旧町村時代に、未登記のまま道路整備した路線の登記整理)	概要	事業の実施 手法(手段)	岐阜県公共嘱託登記士地家屋調査士協会へ委託をし、路線ごとに処理を進めていく
	対象者数	1,239 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市道一重ヶ根寺前線、市道長倉1号線、市道長倉2号線、市道堂殿宮ノ前線、市道栃尾3号線、市道蔵柱阿曾布線、市道平湯不動線等継続分を含め未登記処理を進めている。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	未登記解消(業務発注路線数)	本	目標値	10	10	10	7
				実績値	8	7		
	算出根拠等			達成率(%)	80	70		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	過去の経緯が不明のため、道路用地の寄付だけでは中々理解していただけないところがあり処理が進まないところがある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地元町内会及び地元住民等過去の経緯を聞き取り、事前打ち合わせや資料を探していただき再度現地立会いを実施して処理を進めている。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	地元町内会の協力を得ながら順次実施しているところではあるが、地籍調査を併用することにより更なる事業の推進を図る。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 16,933	16,264	17,000	17,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 4,779	4,590	4,949	4,969
	受益者	上宝支所内人口 (B)	3,543	3,543	3,435

5 予算編成(Action2)

事業 内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所	市外の方の交通費の対応	維 持 課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。
				地 域 政 策 課		積極的に事業を推進すること。	

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		17,000	17,000	0	20,000	20,000	・事業推進に必要な事業費を確保	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	17,000	17,000	0	20,000	20,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	湯の花街道環境保全事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 合併後の周辺自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源として積極的に活用します。
種別				款	7 土木費		○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所 基盤産業課			項	4 都市計画費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3942			目	7 快適環境整備費		D その他事業				
							H25計画額	1,500 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	国道471号通過車両	どうしたいのか (意図)	湯の花街道(国道471号)の景観美化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	湯の花街道の草刈及び花等の補植、清掃業務委託
	対象者数	一人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	湯の花街道(国道471号)沿いのポケットパークなどの草刈、樹木の剪定、花壇の花の植樹や草取り、樹木の雪囲いの設置撤去							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	草刈、補植及び樹木剪定等の維持管理対象道路延長	km	目標値	30	30	30	30
				実績値	30	30		
	算出根拠等		国道471号道路延長L=30km	達成率(%)	100	100		
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	地域の自治会やNPO法人と協力し合い有効な事業の執行をはかる。
---------------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地域の自治会やNPO法人と協力し合い全路線において湯の花街道の更なる景観美が保たれるようにする。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善	観光客の減少する中、最小限の環境整備を実施し、景観美を後世に引き継ぐ。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評 価	○ 維持・改善	・県が管理する道路施設の修景については、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要望する必要がある。 ・花の補植等については、他の類似事業と合わせ全市的な検証を行う必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,413	1,413	1,500	1,542
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				
	受益者	(B)				

5 予算編成(Action2)

事業内容	・湯の花街道(国道471号)沿いのポケットパークなどの草刈、樹木の剪定、花壇の花の植樹や草取り、樹木の雪囲いの設置撤去	要求の ポイント	・観光客に高印象を与えるよう湯の花街道(国道471号)の景観美化を図る。	事業実施の 課題	・地域の自治会やNPO法人と協力し合い全路線において湯の花街道の更なる景観美が保たれるようにする。	都 市 整 備 課	・観光振興に繋がる景観整備として事業継続が必要である。
						地 域 政 策 課	・樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,500	1,542	42	1,500	1,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,500	1,542	42	1,500	1,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	91499	中学校部活動生徒送迎事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	
種別				款	9	教育費		○	B				一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	上支所 地域振興課			項	1	教育総務費			C				終期を定めて実施する事業・単年度事業
	内線 3913			目	3	スクールバス管理費			D				その他事業
								H25計画額	560 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	北稜中学校生徒	どうしたい のか (意図)	北稜中学校の土曜日における部活動にスクールバスを運行し、遠距離通学生徒に対する参加機会の均衡を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	土曜日の部活における送迎 通年(長期休業期間を除く全土曜日)実施 ・路線(中尾線・平湯線) ・経費(賃金、燃料)
	対象者数	89 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	延べ利用生徒数 N=1,806							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	運行回数	回	目標値	42	42	42	43
		実績値	42					
	成果 指標	延べ利用生徒数	人	目標値	1,512	1,806	1,800	1,800
		実績値	1,512					
	算出根拠等	スクールバスの運行回数		達成率(%)	100	100		
		バス運行回数×1回の利用人数		達成率(%)	100	100		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	現状を維持が適切である。
---------------------	--------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	現状を維持している。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	現状維持
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	・公共交通での対応も視野に入れながら、スクールバス利用についての考え方を調整する必要がある。	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 557	499	580	585
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 5,570	4,990	6,517	6,573
	受益者	北稜中学校生徒数 (B)	100	100	89

5 予算編成(Action2)

事業 内容	土曜日実施の部活動生徒送迎用スクールバスの運行 (中尾線、平湯線)	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	教育 総 務 課	合併前から実施しているものであり、遠距離という地域性を考慮し次年度も実施する。 今後、公共交通事業との関連や部活動のあり方を精査のうえ、全市的に検討することとする。
					地 域 政 策 課	部活動に係るスクールバス利用については、全市的なあり方の検討が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		580	585	5	580	580	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	580	585	5	580	580		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、 安心して暮らせる地域を築くため、 地域の自立なコミュニティ活動や 環境整備事業の予算枠を確保します。
番付				款	9	教育費		○	B				
担当課	上宝支所 地域振興課	内線		項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	3,500 千円		
		3913		目	1	社会教育総務費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝支所管内市民	どうしたいのか (意図)	町内会や施設に対し花苗を配布し、地域や道路沿いの花壇での植栽管理を実施してもらうことで、地域全体を花で飾り市民憲章の具現化を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	町内会等に配布する花苗の購入(春秋2回6種類)
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	花苗植栽参加団体 N=21						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	花苗注文数	個	目標値	50,000	50,000	50,000	55,000
成果指標	算出根拠等	各町内他からの要望数	実績値	51,000	55,000		
	花苗植栽参加団体	件	達成率(%)	102	110		
成果指標	算出根拠等	町内会等参加団体数	目標値	21	21	21	21
	達成率(%)		実績値	21	21		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	現状を維持が適切である。
---------------------	--------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	現状を維持している。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
現状維持	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,284	2,370	2,500	2,520
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	647	682	731	737
	受益者	上宝支所管内市民	(B)	3,529	3,474	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	地域を花で飾る活動に対し、花苗を配布	要求の ポイント	花苗の購入費(6種類)	事業 実施の 課題	支所 現状維持	市民 活動 推進 課 地域 政策 課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。 現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
------	--------------------	-------------	-------------	-----------------	------------	--------------------------------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,500	2,520	20	2,000	2,000	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,500	2,520	20	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業 (花壇の管理委託)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、 安心して暮らせる地域を築くため、 地域の自立的なコミュニティ活動や 環境整備事業の予算枠を確保します。
	款			9	教育費		○	B				
担当課	上宝支所 地域振興課	内線 3913	予算	項	4	社会教育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円		
				目	1	社会教育総務費	D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	町内会や施設に対し花苗を配布し、地域や道路沿いの花壇での植栽管理を実施してもらうことで、地域全体を花で飾り市民憲章の具現化を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	地元住民で管理できない国道沿いの大きな花壇について、市が業者へ業務委託し管理する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	花壇 N=1箇所 面積A=600㎡							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	花壇面積		㎡	目標値 実績値	600 600	600 600	600	
成果 指標	算出根拠等 面積 巾1m×長さ600m			達成率(%)	100	100		
	花苗の数		個	目標値 実績値	5,000 5,200	5,000 5,000	5,000	
成果 面	算出根拠等 サルビアの花苗数量			達成率(%)	104	100		
				目標値 実績値				
補 足	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値 実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値 実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値 実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	地元住民による管理が必要不可欠である。
---------------------	---------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	H24年度をもって、事業廃止する予定である。	
次年度 の実施 方針	維持・改善 拡大 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	直営による外部委託管理の花壇は、廃止する方向で検討する。
	維持・改善 拡大 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 767	933	1,000	1,226
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 8	10	11	
	受益者 全市民	(B) 93,822	93,312	92,861	

5 予算編成(Action2)

事業内容	平成24年度をもって管理委託業務を廃止した葛山花壇の撤去	要求の ポイント	既存の木造花壇の老朽化に伴う撤去費	事業 実施 の 課題	支所 現況のままの状態での維持管理は困難である。	市民 活動 推進 課 地域 政策 課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
------	------------------------------	-------------	-------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------------------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			1,226	1,226	1,200	1,200	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		1,226	1,226	1,200	1,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化芸術助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。芸術文化の振興を積極的に支えます。心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながらる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
種別				款	9	教育費		○	B					
担当課	上宝支所 地域振興課	内線		項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	250 千円			
		3913		目	6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝地域住民	どうしたいのか (意図)	地域に根ざした芸術文化の振興を図り、地域のコミュニティを醸成する。	概要	事業の実施手法(手段)	たから社会教育運営委員会が開催する文化祭(作品展、芸術発表)に対する補助金の交付
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		たから文化祭 延入場者数N=1380 最大収容人数N=380							
活動指標	指標名		単位	目標・実績		H22	H23	H24	H25
	算出根拠等	作品展・芸術発表 出演・出演者数		人	目標値	100		100	
実績値		150			150				
算出根拠等		作品展・芸術発表に出展・出演者の数		達成率(%)	150		150		
成果指標	作品展・芸術発表 延入場者数		人	目標値	1,300		1,300		1,300
	実績値			1,320		1,380			
算出根拠等		芸術発表・作品展会場への来場者		達成率(%)	102		106		
成果面	算出根拠等			目標値					
	実績値			達成率(%)					
算出根拠等				目標値					
実績値				達成率(%)					
算出根拠等				目標値					
実績値				達成率(%)					
算出根拠等				目標値					
実績値				達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	地域全体のニーズのさらなる高まりに繋げるため、参加者増が必要である。
-----------------	------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	参加者増に向け内容を精査するよう事業実施団体へ指導する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	250	250	250	250
受益者1件当たり(円)	(A/B)	71	72	73	73
受益者	上宝地域住民 (B)	3,529	3,474	3,421	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	・たから社会教育運営委員会が開催する文化祭(作品展、芸術発表)に対する助成	要求のポイント	・地域住民が自ら企画・実行する文化活動の成果発表の場に対し支援する。	事業実施の課題	・参加者増に向け内容の精査を実施団体へ指導する。	生涯学習課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸術祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なるため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課							・同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		250	250	0	250	250	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	250	250	0	250	250		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながらる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
種別				款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	上宝支所 地域振興課	内線	3913	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,300 千円			
				目	6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝地域住民	どうしたいのか (意図)	優れた芸能文化にふれる機会の充実を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	地域が主体となって取り組む文化振興事業に対する助成金
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	中国民族音楽・津軽三味線コンサート 入場者数N=205						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	広報チラシの枚数	枚	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500
成果指標	算出根拠等	イベント開催用チラシ印刷枚数	実績値	1,500	1,500		
	会場の容量に応じた入場者数	人	達成率(%)	100	100		
成果指標	算出根拠等	講演会等に市民が参加した人数	目標値	500	500	380	380
			実績値	510	205		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	102	41		
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績値				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	限られた予算で、多くの市民が実際に会場へ足を運びたいと思うような、興味を引く内容を企画する必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	参加者増に向け内容を精査するよう事業実施団体へ指導する。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 継続する。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	1,300	1,300	1,300
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	368	374	380
	受益者	上宝地域住民	(B)	3,529	3,474

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域が主体となって実施する文化振興事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・参加者増に向け内容の精査を実施団体へ指導する。	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なるため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課					・同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,300	1,300	0	1,300	1,300	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,300	1,300	0	1,300	1,300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	文化財標柱設置事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
			款	9	教育費	○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課		上宝支所 地域振興課	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
		内線 3913	目	7	文化財費		D	その他事業			
							H25計画額	1,000 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	文化財標柱の設置により、市民に対する文化財の周知を行い、文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。 ・上宝ふるさと歴史館において特別展を開催することにより、郷土の文化や歴史等を広く周知する	概要	事業の実施 手法(手段)	・文化財案内標柱と看板の製作委託 ・ふるさと歴史館での特別展
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	文化財標柱、看板設置 N=5 ふるさと歴史館特別展(葉草パネル展示会) 61日間								
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動 指標	文化財案内看板設置に伴う検討会開催回数		回	目標値	21	18	18	18
		実績値			21	18			
	算出根拠等		本庁・所有者・業者との検討回数		達成率(%)	100	100		
	成果 指標	文化財案内標柱、看板設置数		個	目標値	6	5	5	5
		実績値			5	5			
	算出根拠等		文化財案内標柱・看板設置した数		達成率(%)	83	100		
	算出根拠等				目標値				
	算出根拠等				実績値				
	算出根拠等				達成率(%)				
	算出根拠等				目標値				
	算出根拠等				実績値				
算出根拠等				達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	設置により盗難被害を誘発する文化財を除き、H26の整備完了を目指し事業継続する。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	事業を継続する
次年度の 実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 継続する。
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・設置計画に基づき平成26年度までに完了するよう計画的に設置を進める必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 697	911	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 198	262	292	292
	受益者	上宝支所管内市民 (B)	3,529	3,474	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	・文化財案内標柱と看板の設置 ・上宝ふるさと歴史館における特別展の実施	要求の ポイント	・地権者との協議状況、緊急性等に基づく優先順位により設置箇所を決定 ・当地域に根ざす歴史、文化を広くPRする展示	事業 実施の 課題	緊急性の高いものについては、H26までに設置完了するよう事業を継続する	文化 財課	文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓蒙の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。
						地域 政策 課	計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	
種別				款	9	教育費		○	B				一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	上宝支所 地域振興課			項	5	保健体育費			C				終期を定めて実施する事業・単年度事業
	内線 3913			目	1	体育総務費			D				その他事業
								H25計画額	450 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝支所管内市民	どうしたい のか (意図)	上宝町・奥飛騨温泉郷の両町民を対象として、スポーツ交流事業を実施することにより、地域の連携と活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	地域スポーツ大会、スポーツ交流イベントの開催(主催 たから社会教育運営委員会)の補助金
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・スポーツフェスティバル 参加者N=15 ・駅伝大会 参加者N=265 ・バレーボール大会 参加者N=45 ・ソフトミニバレーボール大会 参加者N=30 ・バトミントン大会 参加者N=26 ・歩け歩け運動(ウォーキングイベント) 参加者N=17 (参加者 合計 N=398)								
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動 指標	スポーツ大会等の参加者		人	目標値	400	400	420	420
		算出根拠等		スポーツ競技に参加の数	実績値	400	398		
	成果 指標	参加者増加率		%	目標値	105	105	105	105
		算出根拠等		前年比	実績値	100	100		
	成果 面	算出根拠等			達成率(%)				
		算出根拠等			目標値				
	成果 面	算出根拠等			実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果 面	算出根拠等			目標値				
		算出根拠等			実績値				
	成果 面	算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			目標値						
補 足	算出根拠等			実績値					
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	様々な世代、職種の市民がより多く参加できるよう、開催の場所、時期、内容の工夫は必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	参加者増に向け内容を精査するよう事業実施団体へ指導する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	継続する。 ・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評 価	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	450	450	450
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	128	130	132
	受益者	上宝支所管内市民 (B)	3,529	3,474	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	地域スポーツ大会やスポーツ交流イベント等の開催に対する助成	要求の ポイント	参加機会の増加やイベント内容の充実を図るため、地域スポーツ大会やスポーツ交流イベント等を支援	事業 実 施 の 課 題	支 所	参加者増に向け内容を精査を実施団体へ指導する。	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
							地域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		450	450	0	450	450	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	450	450	0	450	450		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	集落支援員設置事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	上宝支所 地域振興課			項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
内線	3914			目	9	企画費		D	その他事業			
								H25計画額	2,600	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	限界集落住民	どうしたいのか(意図)	「集落支援員」を設置し、限界集落における定期的な巡回や、実施が困難となっている地域行事、農作業などに参加・協力することで、人口減少・高齢化により低下しつつある地域コミュニティ機能の維持・向上を図る。また、集落にとっては、集落支援員として他地域の若者を受け入れることで、外から見た新たな地域資源の発掘・見直し等を通じた地域活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	農山村地域への研修派遣事業を実施しているNPO法人からの研修生を限界集落に派遣し、地域の活性化へ向けての集落支援活動を行う。
	対象者数	199	人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	上宝町金木戸、鼠餅、大谷、葛山、奥飛騨温泉郷当地区に入り、集落の行事への参加、集落の共同作業の手伝い等を行った(延べ訪問回数218回)。また、定期的な活動報告の他に、3月には実績報告会を開催した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	派遣集落数	集落	目標値		5	7	7
		実績値			4			
	算出根拠等	支援活動を行う集落数		達成率(%)		80		
		集落住民満足度	人	目標値		68		
	実績値			68				
	算出根拠等	集落住民に聞き取り調査		達成率(%)		100		
		集落巡回回数	回	目標値			220	230
	実績値				218			
	算出根拠等	集落へ訪問した延べ回数		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	集落支援員の活動を通して、今後、過疎集落の維持・存続のための方策、提言、ヒント等を得られるよう事業を進める。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	集落支援員の活動も2年目となり、今年度は活動範囲を拡大し、更に活動を広く、深めて行くようにしている。	
次年度の実施方針	○維持・改善	集落支援員事業もH25には最終の3年目となることから、総まとめの年としての活動・事業実施を行い、成果が得られるようにしていきたい。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	・活動範囲を拡大し、多くの集落で成果が得られるようにする必要がある。	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	2,100	1,950	2,338
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		30,882	9,799	11,749
	受益者	限界集落住民	(B)	0	68	199

5 予算編成(Action2)

事業内容	農山村地域への研修派遣事業を実施しているNPO法人から研修生を限界集落に派遣し、地域の活性化へ向けての集落支援活動を行う。 ・集落の行事への協力・参加 ・道普請などへの協力 ・水源地の清掃等の手伝い ・地域伝統文化の継承の支援 ・農作業への支援など	要求のポイント	・H24から長倉、岩井戸地区を活動範囲に加え、H25は農産物直売所を核とした農産物の生産から販売までの仕組みに対し、集落支援員の外部からの視点による提言を行い、今後の活動のさらなる展開と維持を図る。	事業実施の課題	・事業最終年度となる3年目の活動となることから、3年間の活動の成果を形にできるように、集落支援員との連絡を密にし、事業実施していく必要がある。	地域政策課	・集落支援員の設置期間内経過後も、定住に結びつけられるための取り組みが必要である。
						地域政策課	

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,950	2,338	388	2,230	2,230	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,950	2,338	388	2,230	2,230		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21399	焼岳噴火防災啓発事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	52 土石流等の自然災害に備える防災施設の施工を進め、実践的な防災訓練を実施します。
種別				款	2 総務費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所 地域振興課	内線	3911	項	1 総務管理費	O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	500 千円		
				目	13 災害対策本部費		D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	奥飛騨温泉郷地域住民	どうしたいのか (意図)	焼岳における気象庁の噴火警戒レベルが導入されたことを受け、有事に備えた避難体制の啓発や火山噴火のメカニズム等を周知することで、奥飛騨温泉郷の地域住民の安全と安心を確保する。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導看板の設置 避難体制等のリーフレット作成 講演会等の開催
	対象者数	1,490 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	奥飛騨温泉郷町内会火山噴火避難訓練参加率	算出根拠等	%	目標値			100
実績値								
成果指標	火山噴火避難訓練調整会議実施数	算出根拠等	回	目標値			2	3
				実績値				
成果面		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績値				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績値				
				達成率(%)				
補足		算出根拠等		目標値				
				実績値				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	有事に備えての普段の意識啓発が重要であり、地域住民の避難体制や避難行動について周知・徹底を図るため、避難誘導看板の設置と避難体制等のリーフレットの作成を行うほか、火山のメカニズムについて予備知識を備えてもらえるよう講演会等を開催する。										
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">有事に備えた避難体制の啓発や、地域住民の行動について周知・徹底を図るため、官民一体となった合同防災訓練を継続する。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">住民の安全を最優先に、避難体制を確実に周知する方法について検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○維持・改善	有事に備えた避難体制の啓発や、地域住民の行動について周知・徹底を図るため、官民一体となった合同防災訓練を継続する。	拡大	縮小	○維持・改善	住民の安全を最優先に、避難体制を確実に周知する方法について検討する必要がある。	拡大	縮小	廃止検討	
○維持・改善	有事に備えた避難体制の啓発や、地域住民の行動について周知・徹底を図るため、官民一体となった合同防災訓練を継続する。										
拡大											
縮小											
○維持・改善	住民の安全を最優先に、避難体制を確実に周知する方法について検討する必要がある。										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	1,090	900
受益者1件当たり(円)	(A/B)			732	604
受益者	奥飛騨温泉郷地域住民 (B)	0	0	1,490	1,490

5 予算編成(Action2)

事業内容	市民の安全・安心と有事の際における地域住民の連携体制の構築、並びに噴火災害等に対する意識の高揚を図るため、奥飛騨温泉郷地域にある3箇所の指定避難所(北アルプス自然文化センター、奥飛騨総合文化センター、奥飛騨新尾生涯学習館)に焼岳噴火警戒避難看板を設置し啓発を図る。	要求の ポイント	焼岳噴火警戒に関する看板設置 (指定避難所 3か所)	事業 実施 の 課題	支所	<ul style="list-style-type: none"> 火山噴火防災は、地域特有の課題であり、防災意識の継続的な啓発が必要 本事業終了後、地域の防災力を維持、向上していくための自主的な取り組みへの発展 	危機 管理 室	
						地域 政策 課	災害対策経費について、一般予算と地域振興特別予算での対応を整理しておく必要がある。	

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,090	900	△ 190	300	300	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,090	900	△ 190	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	41499	地域歯科診療継続支援事業	内線	3912	特別 予算の 位置 付け	会計 1 一般会計	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	5 医療・福祉を充実させます。 地域医療を充実させるため、医療機関への支援額を増額します。
	款 4 衛生費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所地域振興課	項 1 保険衛生費	目 4 地域医療対策費			O C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円		
						D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝地域住民	どうしたい のか (意図)	無歯科医地域の状況に陥ることがないように、現歯科診療所の運営の継続を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	現歯科診療所を運営する医療法人が、運営の継続に必要としている機械設備及びレントゲンの更新に対し補助する。
	対象者数	3,430 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	現歯科診療所を運営する医療法人が、運営の継続に必要としているレセプトコンピュータ2台の購入に対し補助した。						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	レセプトコンピュータ導入台数	台	目標値	0	2	0	0
成果 指標	算出根拠等	レセコン数量	実績値	0	2		
	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)		100		
成果 指標	受診者数	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000
	算出根拠等	年間受診者数	実績値	5,255	5,391		
成果 指標	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)	88	90		
	算出根拠等	目標値	実績値				
成果 指標	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)				
	算出根拠等	目標値	実績値				
成果 指標	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)				
	算出根拠等	目標値	実績値				
補足	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)				
	算出根拠等	目標値	実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度 の実施 方針	維持・改善
	拡大
二次 評価	縮小
	廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	5,000	0	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		1,439		1,458
受益者	0	(B)	0	3,474	0	3,430

5 予算編成(Action2)

事業内容	上宝地域の歯科医療に携っている、医療法人社団 みつば会が運営する本郷診療所及び柄尾診療所の運営継続に必要とされる機械設備、レントゲン設備の更新に対し補助金を交付し運営の支援を実施する。	要求の ポイント	歯科医療機械設備の更新に対する助成	事業実施 の課題	<p>当地域は市の中心部の医療機関への通院に約1時間を要するという地理的ハンディを抱えており、また、当該歯科診療所へは年間延5,500人余りが受診しているという現状において、当地域における歯科医療の継続は、地域住民、特に高齢者の安全安心を確保するうえにおいて必要不可欠な状況であるため、市はこれまで当該医療法人に支援を行ってきたが、一民間法人に対し支援を行うことについては、全市域における歯科医療のあり方や他地域との均衡を考慮し検討する必要があります。</p>	医療課	上宝地域のへき地歯科診療体制の確保及び充実を図り、住民の安心安全を確保する必要がある。	地域政策課	広大な市域における歯科診療の確保のあり方や、他地域とのバランスの検討が必要である。
------	--	-------------	-------------------	-------------	--	-----	---	-------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源		5,000	5,000	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	北アルプス飛騨側登山道整備事業	内線	3931	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します。 1 飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズムに加え温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム、自分だけの製品をつくるクラフトツーリズムなど、地元の産業と一体となった新たな旅行スタイルを生み出します。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	上宝支所 基盤産業課	内線	3931	3931	特別 予算の 位置 付け	C	○ 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,000 千円		
						D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝支所地域の住民	どうしたい のか (意図)	登山道整備による北アルプス登山者の安心・安全確保及び周辺整備	概要	事業の実施 手法(手段)	北アルプス飛騨側登山道等維持連絡協議会が実施する軽微な修繕では対処できない木道の修繕等、比較的大規模な登山道の修繕を請負にて実施する
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・木製階段工 西鎌尾根方面100段、乗鞍岳方面30段 ・梯子設置工 笠ヶ岳方面 6箇所						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	協議会との打合せ	回	目標値	2	3	3	3
	算出根拠等		実績値	2	5		
活動指標	現地踏査	回	目標値		0	2	2
	算出根拠等		実績値		2		
成果指標	登山者の対前年比割合	%	目標値	110	100	105	105
	算出根拠等	登山者数は登山届提出数	実績値	112	91		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	102	91		
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・3000m級の山岳地帯の歩道であり、構造物等の設置ができないため、危険度を限りなくゼロに近づけることは不可能である ・登山道の抜本的な改良工事は、計画的に別予算で実施する必要がある
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・危険箇所を迂回するルートについて、森林管理署や環境省と協議を行う ・北アルプス飛騨側登山道等維持連絡協議会と連絡を取りながら、来年度以降の実施予定箇所についても現地踏査を実施する	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・北アルプス飛騨側登山道等維持連絡協議会や関係官庁と連絡を取りながら現状どおり事業を実施する ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	1,701	1,712	2,000	2,884	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	482	493	585	843	
	受益者	上宝支所管内の市民(4月1日現在)	(B)	3,529	3,474	3,421	3,421

5 予算編成(Action2)

事業 内容	市が管理する登山道の改修整備 ・梯子、木製階段、危険箇所ルート整備	要求の ポイント	近年の登山ブームに対応した登山者の安全性確保	事業 実施の 課題	支所 ・小池新道のルート切り替えにあたり、森林管理署及び環境省との十分な事前協議が必要である。	環境 政策 推進 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
					地域 政策 課		同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	2,884	884	2,000	2,000	・計画額どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,884	884	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72399	市道改良事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	57 支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。
	課			7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	担当課			2	道路橋梁費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	上宝支所 基盤産業課			3	道路新設改良費		D	その他事業				
	内線							H25計画額	2,000 千円			
	3941											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝町住民及び市街地への通勤者	どうしたいのか (意図)	地域からの要望も多く、合併後も通行量が増大している上宝町と高山市街地を最短で結ぶ市道上宝丹生川線の視距改良、法面改良及び待避所を設置し、安全に通行できるよう整備する。	概要	事業の実施 手法(手段)	視距改良(カーブ改良) 6箇所 L=180m 法面改良 6箇所 L=120m 待避所設置 4箇所
	対象者数	500 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	法面改良 L=20m	コンクリート吹付 t=15cm A=100㎡						
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	視距改良・法面改良・待避所設置	箇所	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	1		
	算出根拠等		工事実施箇所数	達成率(%)	100	100		
	成果 指標	交通事故発生件数		目標値	0	0	0	
				実績値	0	0		
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果 面			目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果 面			目標値				
				実績値				
算出根拠等		達成率(%)						
成果 面			目標値					
			実績値					
算出根拠等		達成率(%)						
補 足			目標値					
			実績値					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	工事の手法について、検討の必要がある。
---------------------	---------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	全線の改良には、莫大な費用と日数がかかるため、維持修繕での局部改良にて、当面は工事を実施する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	安全に通行するため、落石を防止する法面の改良を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	○ 維持・改善	計画的に実施する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,754	1,911	2,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,508	3,822	4,000	10,000
	受益者	上宝町住民及び市街地への通勤者	(B)	500	500	500

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	上宝丹生川線局部改良	要 求 の ポ イ ン ト	視距改良で工事区間延長が長い	事業 実 施 の 課 題	支 所	落石等が多い路線であるため、継続して実施する必要がある。	建設 課	施工手法の検討を行い、さらにコスト削減に努める。
							地 域 政 策 課	地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	5,000	3,000	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	5,000	3,000	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	奥飛騨温泉郷自然環境活用事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します 1 飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズム(自然に親しむ旅行)に加え温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム(健康に良い旅行)、自分だけの製品をつくるクラフトツーリズム(モノづくり旅行)など、地元の産業と一体となった旅行スタイルを生みだします。	
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	上宝支所 地域振興課			内線	項	1		総務管理費	C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
				3913	目	18		環境政策費	D					その他事業

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝町・奥飛騨温泉郷地域の市民及び体験事業参加者	どうしたいのか(意図)	奥飛騨温泉郷地域の雄大な自然環境を活かしたグリーンツーリズム、エコツーリズム、ヘルスツーリズムを推進し、観光振興促進により地域振興を図る	概要	事業の実施手法(手段)	当該事業の目的に沿った体験型事業実施者に対し、その事業にかかる経費の一部を補助する。
	対象者数	4,841 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	自然体験型イベント N=13 延参加人数 N=650						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	体験型事業開催延日数	日	目標値 実績値		262 133	127	276
成果指標	算出根拠等	体験型イベント開催延日数	達成率(%)		51		
	体験型事業参加者数	人	目標値 実績値		1,500 650	1,400	2,460
成果面	算出根拠等	体験型イベント延参加者数	達成率(%)		43		
			目標値 実績値				
成果面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績値				
成果面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	当初計画の段階で、昨年度実績を踏まえ慎重かつ確実な年間計画を作成することを厳しく指導すること、及び安易な計画変更を認めない強い姿勢が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・補助金交付団体に対し、当初計画の履行の徹底、及び安易な計画変更をしないよう厳しく指導している。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	1,800	2,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		362	516
	受益者	上宝支所管内市民及び参加者	(B)	0	4,974

5 予算編成(Action2)

事業内容	奥飛騨温泉郷の雄大な自然環境を活かしたグリーンツーリズム、エコツーリズム、ヘルスツーリズム事業に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	参加者増に向けた事業内容の充実	環境政策推進課	補助期間終了後、自立して事業が実施できるような方向付けが必要である。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,500	2,500	0	2,500	2,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,500	2,500	0	2,500	2,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	上宝・奥飛騨堆肥センター 生ごみ処理推進事業	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。 ・温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します。
種別			2 総務費	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	上宝支所 地域振興課	内線 3914	1 総務管理費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,500 千円				
			18 環境政策費	D その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝町・奥飛騨温泉郷市民	どうしたいのか(意図)	上宝・奥飛騨バイオマス利用促進協議会の事業実施により、上宝町地区及び奥飛騨温泉郷地区の地域連携の要となっている(有)奥飛騨エコセンターの生ごみ受け入れと堆肥生産の効率化・生産コストの縮減を図る。また、原料供給者及び堆肥消費者の双方に対し広く広報活動を行い、(有)奥飛騨エコセンターの堆肥生産活動を活性化させ、循環型社会の形成を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	上宝・奥飛騨バイオマス利用促進協議会が行う事業(①地域啓発事業②家庭ごみ処理試験事業③堆肥施用実証試験事業④生ごみ処理省力化事業⑤畜糞搬入助成事業)に対し、3年間を期限とする補助を行う。
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	1地域啓発・実証試験事業として、(1)地域啓発事業、(2)家庭ごみ処理試験事業、(3)堆肥施用実証試験事業を行った。 2経営改善事業として、(1)生ごみ処理省力化事業(ペール缶反転機械購入事業、生分解性ビニール袋製造購入事業)、(2)畜糞搬入助成事業を行った。 なお、奥飛騨エコセンターにおいて、事業系及び一般家庭生ごみ計130tを焼却処理とせず、堆肥化処理することができた。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	啓発広報誌発行	回	目標値		4	3	3
				実績値		4		
		算出根拠等	年間発行回数	達成率(%)		100		
	成果指標	生ごみ処理量	t	目標値		130	140	145
				実績値		130		
		算出根拠等	事業系・一般家庭生ごみ年間処理量	達成率(%)		100		
	成果面			目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果面			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
成果面			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	家庭生ごみの処理試験を継続し、将来の収集範囲拡大を目指し、基礎データを得る。 奥飛騨エコセンターでの堆肥生産については、生ごみ処理および堆肥生産における更なるコスト削減と、畜糞・生ごみ等の原材料の確保が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	奥飛騨エコセンターにおける堆肥生産については、主原料である畜糞の収集について、現状の分析を行い、将来の供給計画を立てる。支出については、更なる人件費の圧縮に努めると共に、生ごみ処理の省力化につながる事業を実施する。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	次年度も事業を継続し、奥飛騨エコセンターを核とした、奥飛騨温泉郷地区と上宝町地区の地域連携を図りつつ、循環型社会の構築を目指す。 ・事業の終期を見据え、経営改善が図られるよう事業実施の効果検証とフォローアップを行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	2,500	2,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		720	731
	受益者	上宝町・奥飛騨温泉郷市民	(B)	0	3,474

5 予算編成(Action2)

事業内容	循環型社会の形成に向けた取り組みに対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	奥飛騨エコセンターでの堆肥生産については、生ごみ処理および堆肥生産における更なるコスト削減と、畜糞・生ごみ等の原材料の確保状況の把握が必要である。	環境政策推進課	補助期間終了後、自立して事業が実施できるような方向付けが必要である。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,500	2,500	0	2,500	2,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,500	2,500	0	2,500	2,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	54199	高原土地改良区水路管理助成事業 内線 3931	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画 地域振興計画 H25計画額 700 千円	市長 公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・農業生産額250億円を目指します
種別			款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	上宝支所 基盤産業課		項	4	農業土木費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
			目	1	農業土木総務費		D	その他事業		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝地域住民	どうしたい のか (意図) ・受益面積約185haの高原用水の維持管理費を助成することにより、農業用水路の適正利用と農業生産性の向上を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・高原土地改良区が行う高原用水の維持管理事業に対する助成
	対象者数	1,276 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・施設の見回り点検 ・施設の補修						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				見回り・点検回数	回	目標値	330
			実績値	331	298		
	算出根拠等		達成率(%)	100	90		
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				断水回数	回	目標値	0
			実績値	0	0		
	算出根拠等		達成率(%)				
成果面	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

補足 断水回数は自然災害や計画的なものを除く施設の突発事故等による回数を計上

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・特になし
-----------------	-------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・施設の延命化を図り、持続可能な事業となるよう現状を維持しながら実施する
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	・施設の延命化を図り、持続可能な事業となるよう現状を維持しながら実施する ・補助金の継続については、他地域とのバランスを考慮したうえで調整する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 700	700	700	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 533	543	549	549
	受益者 上宝地域住民	(B) 1,314	1,289	1,276	1,276

5 予算編成(Action2)

事業内容	・施設の見回り点検 ・施設の補修	要求の ポイント ・高原用水は上宝地区の優良な農産物の生産に欠かせない施設であり、施設の維持管理経費に対して助成を行う	事業 実施 の 課題 ・飛騨市が同様に組合に対して行っている補助金の動向	農務課 ・今後、補助金の継続については、他地域とのバランスを考慮したうえで調整する必要がある。 地域政策課 ・地域振興特別予算措置期間終了までに、方針を飛騨市とともに定めることが必要である。
------	---------------------	---	--	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	700	700	0	700	700	・要求どおり ・財務部調整のとおり	
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	700	700	0	700	700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	73199	しのぶ砂防ダム管理事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	種別			款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	上支所 基盤産業課	内線 3941	予算	項	3	河川費	特別 予算の 位置 付け	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	220 千円	
				目	1	河川維持費		O	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地元住民(一重ヶ根・村上)	どうしたい のか (意図)	奥飛騨温泉郷一重ヶ根地内にある「しのぶ砂防ダム」は、だれでも気楽にダムの中に入り見学できる砂防学習施設となっている。その施設見学者(観光客等)へのイメージを落とさないようダム内歩道の照明及び水車等の管理を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	しのぶ砂防ダム内歩道及び水車等の管理業務、付近の清掃等及び照明灯の維持管理
	対象者数	500 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	1回/週の頻度でしのぶ砂防ダム内及び水車小屋の清掃・管理業務を行った。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	しのぶダムの管理業務(電気代含む)	人	目標値	144	144	144	144
成果指標	算出根拠等		実績値	144	144		
	48日×3人=144人		達成率(%)	100	100		
成果面	目標値		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	目標値		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	この施設をさらに多くの方に利用していただけるようにする。
---------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	この施設で開催されるイベントのPR、散策・ウォーキング・トレッキング コースガイドにしのぶ砂防ダム親水公園が紹介されているので、このようなパンフレットを旅館や道の駅観光施設でPRして知名度を高めて行き利用者の増大を図る。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	地元町内会や観光協会と協力しながら来年度以降も継続してゆく必要がある。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	180	160	220	220
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	360	320	440	440
	受益者	地元住民(一重ヶ根・村上)	(B)	500	500	500

5 予算編成(Action2)

事業内容	しのぶ砂防ダム内歩道等の維持管理	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	維持課 トンネル内の照明は、必要時のみ点灯するなど節電を心掛けること。 施設内の清掃は、地元の協力を得るなどして、経費の削減を図ること。	地域 政策 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた施設の方針の策定が必要である。
------	------------------	-------------	-----------------	----	--	---------------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	220	220	0	220	220	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	220	220	0	220	220		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92299	地域小学校教育振興事業 (児童交流事業)	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興企画	市長 公約
種別			款	9 教育費	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所 地域振興課	内線 3913	項	2 小学校費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業				
			目	2 教育振興費	D その他事業				
							H25計画額	300 千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	本郷小・栃尾小4年生と引率者	どうしたい のか (意図)	水見市立灘浦小学校と、本郷小学校、栃尾小学校の4年生が海の子山の子交流を行うことにより、社会性を育む課外授業として児童の教育効果の向上に資する。	概要	事業の実施 手法(手段)	水見市立灘浦小学校へ訪問する経費に対する補助金
	対象者数	30 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	実施期日	平成23年7月28日(木)～29日(金)1泊2日						
	参加人数	N=36 (本郷小学校N=19 栃尾小学校N=12 引率N=5)						
成果 面	活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		本郷小・栃尾小4年生と引率者数	人	目標値	45	28	30	30
		実績値	45	36				
	成果 指標	交流事業参加率	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	100	100				
		算出根拠等	交流事業に参加した児童総数の割合	達成率(%)	100	100		
	成果 指標	算出根拠等		目標値				
		実績値						
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果 指標	算出根拠等		目標値				
		実績値						
		算出根拠等		達成率(%)				
成果 指標	算出根拠等		目標値					
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
補 足	算出根拠等		目標値					
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	H27以降の当該事業の在り方について、学校と保護者及び相手校との協議を行うとともに、全市域的な均衡に配慮しつつ方向性を定める必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	予算の縮減(前年比△100千円)	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善	受益者負担を増加させ継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	○維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	300	383	300	300
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,667	10,639	10,000	10,000
	受益者	上宝支所管内市民	(B)	45	36	30

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	富山県水見市の小学生と、本郷小学校及び栃尾小学校4年生の児童による交流事業のため、富山県水見市へ訪問する経費に対して、その一部を助成	要 求 の ポ イ ン ト	児童の社会性、教育効果の向上のため、地域特性の異なる海浜地域の小学生との交流を実施	事業 実 施 の 課 題	学校・保護者・相手校との将来の事業のあり方に向けての協議	学 校 教 育 課	特定地域の学校による他都市との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	300	300	0	300	300	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	300	0	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	12 新しいまちづくりを実現するために、次のことを市長の基本姿勢とします。 ・合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取組む活動に支援します。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所 地域振興課	内線		項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	4,500 千円		
		3911		目	9	企画費		O	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝地域住民	どうしたいのか (意図)	地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取組む地域振興事業を支援する。	概要	事業の実施 手法(手段)	地域の住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業への補助金
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・市道草刈等の景観保全 10件 ・公園等のコミュニティ施設の整備 4件 ・地域振興のための情報発信等 3件 ・その他 5件 合計 22件							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	補助金交付要望件数	件	目標値	23	27	30	30
		実績値	23	22				
	算出根拠等		要望書提出件数	達成率(%)	100	81		
	成果 指標	補助金交付件数	件	目標値	17	20	22	22
		実績値	17	22				
	算出根拠等		補助金交付件数	達成率(%)	100	110		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	市民からの要望は非常に高いが、対象となる事業の選定やその対象経費について詳細な基準が必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	市民からの要望に応えるためには、対象事業や対象経費についての綿密な協議・調整を行い、地域間におけるバランスにも配慮し実施する。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	地域への潤いと地域力の向上を促進するため、事業内容については精査しつつ継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,889	7,113	5,500	5,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,102	2,047	1,608	1,608
	受益者	上宝地域住民	(B)	3,529	3,474	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------------------------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,500	5,500	0	5,500	5,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	5,500	5,500	0	5,500	5,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	12 新しいまちづくりを実現するために、次のことを市長の基本姿勢とします。 ・合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取組む活動に支援します。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	上宝支所 地域振興課	内線		項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	5,000	千円		
		3911		目	9	企画費	O	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上宝地域住民	どうしたい のか (意図)	即応性が求められるので市有施設の修繕に対し、迅速に対応する。	概要	事業の実施 手法(手段)	市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕
	対象者数	3,421 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・市道、林道、遊歩道等の舗装修繕 7件 ・水路、側溝等の修繕 2件 ・区画線等設置 2件 ・その他 7件 合計 18件						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	修繕件数	件	目標値	10	21	20	20
成果 指標	算出根拠等	施設修繕の実施件数	達成率(%)	100	86		
	即応性	%	目標値	100	100	100	100
成果 面	算出根拠等	要望から1ヶ月以内に実施した率	達成率(%)	100	100		
			目標値				
成果 面	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
成果 面			目標値				
			実績値				
成果 面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果 面	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補 足			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	要望に対する即応性があるため、要望件数も多い。その一方で、事業内容によっては地域間における要望数のバラつきがある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	要望に対する即応性があることから、要望件数も多いが費用対効果や事業規模を考慮し、事業の実施を行う。
次年度 の評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 市民のニーズに応えるため継続して実施する。
二次 評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,206	7,542	5,200	7,999
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,759	2,171	1,520	2,338
	受益者	上宝地域住民	(B)	3,529	3,474	3,421

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------	-------------	-----------------	--------	---------------	---------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,200	7,999	2,799	8,700	8,700	・配分額の調整	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	5,200	7,999	2,799	8,700	8,700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21100	土地借上料	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	58 安心安全な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水区域の解消に努めます。	
種別				款	4	衛生費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	上宝支所 基盤産業課			項	3	繰出金			C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
				内線	2	簡易水道繰出金			D					その他事業
		3944								H25計画額	17 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	栃尾・一重ヶ根	どうしたいのか (意図)	簡易水道施設土地借上料	概要	事業の実施 手法(手段)	栃尾簡易水道取水地 A=70㎡	一重ヶ根簡易水道取水地 A=12㎡
	対象者数	346 人						

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	栃尾簡易水道取水地及び、一重ヶ根簡易水道取水地の土地借り上げ。A=82㎡							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	施設用地	㎡	目標値	82	82	12	12
				実績値	82	82		
	算出根拠等	土地賃貸借契約による		達成率(%)	100	100		
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	場所によって借り上げ料金の格差があり、市の基準内価格となるよう交渉が必要となる。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	一重ヶ根簡易水道取水地の借り上げ料金の値下げ交渉及び、買収交渉を進める。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	H24年度で交渉できなかった場合は、引き続き交渉を行う。
	・市の基準に近づきよう単価交渉を継続する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	119	115	17	17
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	344	332	49	98
	受益者	栃尾・一重ヶ根人口	(B)	346	346	346

5 予算編成(Action2)

事業内容	奥飛騨温泉郷簡易簡易水道 一重ヶ根取水地 A=12㎡	要求の ポイント	・土地所有者との金額についての協議 ・一般予算化による継続	事業 実施の 課題	支所 水道施設が存在している以上、賃借を継続する必要があるが、市の基準を上回る価格で借り受けている土地については、契約更新の際、市の基準に引き下げてもらうよう交渉していく必要がある。	上 水道 課	水道施設が存在している以上、賃借を継続する必要があるが、市の基準を上回る価格で借り受けている土地については、契約更新の際、市の基準に引き下げてもらうよう交渉していく必要がある。
					地域 政策 課		地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		17	17	0	17	17	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	17	17	0	17	17		